

## 私のすすめるこの1冊

水山 光春(社会科学科 教授)

### 『GRIT やり抜く力』

アンジェラ・ダックワース (著)

本書の原題“GRIT”の意味を手許にあった英和辞書(ジーニアス第4版)で引くと、「(どんな苦難にも耐える)根性、気骨」とあった。これを「やり抜く力」と訳すのは名訳だなと感じながら、別著者による同種の本(R. C. セイラー他、『GRIT 平凡でも一流になれる「やり抜く力」』日経 BP、2016)を紐解くと、GRITをGuts(度胸)、Resilience(復元力)、Initiative(自発性)、Tenacity(執念)の4つの要素からなると説明していた。これもなかなか上手い表現だ。ちなみに著者は、「やり抜く力」の主要な構成要素を「Passion (情熱)」と「Perseverance (粘り強さ)」であるとしている。

解題はこのくらいにしておいて、筆者がなぜ本書を読もうと思ったか説明しておこう。理由は以下の三つである。

第一に、「資質・能力」に力点を置いて学力をとらえる次期学習指導要領において、その育成をめざす資質・能力の3つの要素を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」としているが、なかでも最もとらえにくいのが「学びに向かう力・人間性等」である。ちなみにこの「学びに向かう力」とGRITが密接な関係にあることに、今さら説明の必要はないだろう。それゆえ、GRITの意味するものを明らかにすることは、学びに向かう力を明らかにすることにつながると考えた。

第二に、筆者は子どもたちの社会的な事象に対する意思決定力や合意形成力に関心を持っており、それを表す簡便な方法としてよくトゥールミン・モデルを用いているが、このモデルを子どもたち自身が作るのは少々やっかいで、そこにはどうしても「やり抜く力」が求められると考えた。

第三に、著者のアンジェラ・ダックワース氏は、ハーバード大学を卒業して、オックスフォード大学でMA、ペンシルバニア大学でPh. Dを取り、マッキンゼーに勤めた人も羨む経歴の持ち主だが、その人が過去の華々しい経歴をかなぐり捨ててニューヨークの、しかも治安の悪い地域の公立中学校の数学教師になり、そこでGRIT研究を思いつ

く。そのライフ・ストーリーに興味があった。

さて、本書が検討の対象とする対概念は「努力」(この努力を支えているのが「やり抜く力」である)と「才能」である。この一見、相反する二つの要素のどちらが人生の成功にとって決定的に重要かが本書を通底するテーマである。いわば、ウサギとカメのどちらが目ざすゴールにたどり着くかという話である。それに対する著者の答えは明確で、“GRIT”というタイトルからして明らかなように、つまりカメだというわけだ。著者は次のように述べている。

私たちが人生のマラソンでなにを成し遂げられるかは、まさに「やり抜く力」—長期的な目標に向けた「情熱」と「粘り強さ」—にかかっているからだ。やたらと「才能」にこだわっていると、この単純な真実を見失ってしまう。(p.356)

そして「やり抜く力」に関して、重要な二つのことを指摘する。

- 1) 「やり抜く力」は、自分自身で「内側から」、あるいは周りの人々によって「外側から」伸ばすことができる。
- 2) 「やり抜く力」と人生への満足度は比例し、「やり抜く力」が強いほど「幸福度」も高い。

このように書くと、本書は巻にあふれる人生啓発本の一冊に過ぎないのではとの疑問も湧いてこよう。しかし、本書は単なる思い込みによって書かれたエッセイなどではなく、膨大な量的・質的エビデンスに基づく科学的研究成果物であり、「やり抜く力」に関連する要素や評価等の研究がわかりやすくまとめられている。そのことがアメリカでベストセラーとなった理由でもある。

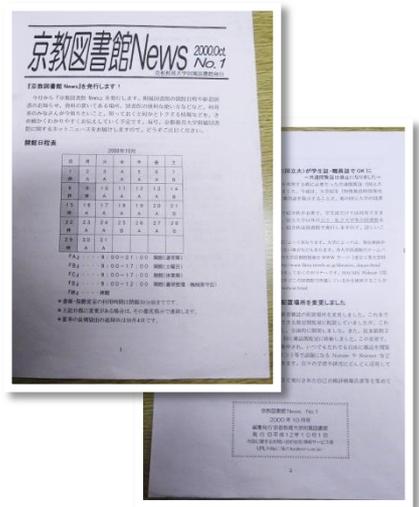
新しい学習指導要領に注目が集まっている今だからこそ、その核となる「学びに向かう力」について、少しじっくり考えてみたいと思う人に、ぜひお薦めしたい1冊である。



## 「図書館ニュース 200 号」発行！

2000年10月に第1号を発行して以来、毎月1回発行してきた図書館ニュースが、ついに200号を迎えました！創刊当初は図書館からのお知らせだけを掲載した2ページほどの簡単な刊行物でした。第5号より2大連載記事の“私のすすめるこの1冊”の連載がはじまり、ほぼ毎号掲載され、2004年5月号(第44号)からは表紙を飾る重要コンテンツの1つとなっています。また、2003年11月号(第38号)からは2大連載記事のうち1つ“論のくちび理のむすび”の連載も開始され、こちらもほぼ毎号掲載されています。(現在は最終ページが定位置です！)

もちろん、図書館からの各種お知らせは今も変わらず掲載しています。これからも図書館のホットなニュースをお届けしてまいりますので、是非ご愛読ください！



図書館ニュース第1号の写真(館内に実物が配架されています。)



## 「京教大50人の先生が選んだ “私のすすめるこの1冊”」を刊行！

図書館ニュース200号発行を記念して、『京教大50人の先生が選んだ“私のすすめるこの1冊”』を刊行しました！今まで色々な先生方が紹介して下さった1冊の中から、現在も本学に在籍されている先生方が紹介された50冊をピックアップし、冊子にしました。もちろん、紹介された本は全て図書館にありますので、この冊子から気になる1冊を見つけ出して、本を読むきっかけしてください！



図書館ニュース「私のすすめるこの1冊」一覧  
No. 5号～200号(2001年2月～2017年5月)

※推薦者の所属等は、当時の所属です。

発行号	発行年月	推薦者	所属	タイトル	著者等	発行所
5	2001年2月	井本 伸廣	学長	盲目の科学者 指先でとらえた進化の謎	ヒーラット・ヴァーメイ 著 羽田 裕子 訳	講談社
6	2001年3月	駒田 聡	国文学科	記憶の肖像	中井 久夫 著	みすず書房
7	2001年4月	木代 喜司	美術科	木のいのち木のこころ(天)	西岡 常一 著	草思社
8	2001年5月	宮崎 充弘	数学科	初等整数論講義(第2版)	高木 貞治 著	共立出版
9	2001年6月	村田 隆紀	学長	物理学とは何だろうか 上・下(岩波新書)	朝永 振一郎 著	岩波書店
10	2001年7月	内田 利広	教育学科	みんなの深層心理	きたやま おさむ 著	講談社
11	2001年8月	小寺 正一	副学長	今昔物語集(本朝世俗部)1~4		新潮社
12	2001年9月	前川 紘一郎	理学科	宇宙からの帰還(中公文庫)	立花 隆 著	中央公論新社
13	2001年10月	手島 光司	副学長	「自分の木」の下で	大江 健三郎 著	朝日新聞社
14	2001年11月	川口 容子	音楽科	回思九十年	白川 静 著	平凡社
15	2001年12月	友久 久雄	発達障害学科(図書館長)	歎異抄	唯 円 著	永田文昌堂
16	2002年1月	井上 文夫	体育学科	安楽病棟(新潮文庫)	帯木 蓮生 著	新潮社
17	2002年2月	松良 俊明	理学科	ドーローの歌-美しい世界の島々からの警鐘 上・下	ティヴィッド・クオメン 著	河出書房新社
18	2002年3月	太田 正己	発達障害学科	育児力・子どもの成長・おとなの成長(ちくま文)	藤村 美津、伊藤 昌子 著	筑摩書房
19	2002年4月	野原 弘嗣	体育学科(附属教育実践総合センター)	子どもたちはなぜしるのか(筑摩新書)	斎藤 孝 著	筑摩書房
20	2002年5月	吉村 文男	図書館長	それでも人生にイエスと言う	V. E. フランクル 著 山田 邦男 他訳	春秋社
21	2002年6月	吉村 文男	図書館長	銃・病原菌・鉄 上・下	ジャレド・ダイヤモンド 著 倉骨 彰 他訳	草思社
22	2002年7月	杉本 弘子	家政科(保健管理センター長)	盲導犬クイールの一生	石黒 謙吾 文 秋元 良平 写真	文芸春秋
23	2002年8月	奈倉 洋子	英文学科	ハーメルンの笛吹き男:伝説とその世界(ちくま)	阿部 謹也 著	筑摩書房
24	2002年9月	辻 朗	社会科学科(情報処理センター長)	超少子化-危機に立つ日本社会(集英社新書)	鈴木 りえこ 著	集英社
25	2002年10月	矢野 喜夫	教育学科(附属養護学校長)	行動の構造	メルロー・ポンティ、M 著 滝浦 静雄、木田 元 訳	みすず書房

26	2002年11月	伊吹 紀男	理学科	日本人の英語(岩波新書)	マーク・ビーターセン 著	岩波書店
27	2002年12月	真神 仁宏	美術科	狂雲集全釈	平野 宗淨 著	春秋社
28	2003年1月	和田 尚	体育学科	フロー体験 喜びの現象学	M.チクセントミハイ 著 今村 浩明 訳	世界思想社
29	2003年2月	垣内 幸夫	音楽科	ベートーヴェンの日記	Ludwig van Beethoven 著 メイナード・ソロモン 編 青木 やよひ、久松 重光 訳	岩波書店
30	2003年3月	加地 芳子	家政科(附属京都中学校長)	家政学未来への挑戦	日本家政学会 訳 家政学原論部会 翻訳	建 社
31	2003年4月	来田 隆	国文学科	文章読本さん江	斎藤 美奈子 著	筑摩書房
32	2003年5月	寺田 光世	図書館長(体育学 附属教育実践総合 センター)	身体の零度	三浦 雅士 著	講談社
33	2003年6月	本間 友巳	国文学科	新しいスクール・カウンセリング ー学校におけるナラティブ・アプローチ	J・ウィスレンド G・モンク 著	金剛出版
34	2003年7月	植山 俊宏	国文学科	街道をゆく(全43冊)	司馬 遼太郎 著	朝日新聞社
35	2003年8月	宗雪 修三	国文学科	いまだき真っ当な料理店 それでも真っ当な料理店	田中 康夫 著	びあ
36	2003年9月	山下 宏文	社会科学科	森林文化への道(朝日選書529)	筒井 迪夫 著	朝日新聞社
37	2003年10月	後藤 景子	家政科	ハカの壁	養老 孟司 著	新潮社
38	2003年11月	占部 博信	数学科	柿の種 (ワイド版岩波文庫227)	寺田 寅彦 著 池内 了解 説	岩波書店
39	2003年12月	岩村 伸一	美術科	実践としての芸術	アントニ・タビエス 著 田澤 耕 訳	水声社
40	2004年1月	八塚 春児	社会科学科	飛鳥(岩波新書 新赤版850)	和田 萃 著	岩波書店
41	2004年2月	広木 正紀	理学科	自然農法・わら一本の革命	福岡 正信 著	白樹社
42	2004年3月	太田 耕人	英文学科	映画の構造分析:ハリウッド映画に学ぶ現代思想	内田 樹 著	晶文社
43	2004年4月	-	-	「なし」	-	-
44	2004年5月	森山 卓郎	国文学科	表現を味わうための日本語文法	森山 卓郎 著	岩波書店
45	2004年6月	田中 道治	発達障害学科	人間 ーその精神病理学的考察	Goldstein,Kurt 著 西谷 三四郎 訳	誠伸書房
46	2004年7月	寺田 光世	体育学科	疲れた身体をリフレッシュQ&A	寺田 光世 著	ミネルヴァ書 房
47	2004年8月	武田 一郎	社会科学科	森林の思考・砂漠の思考	鈴木 英夫 著	ニホン放送協 会
48	2004年9月	位藤 紀美子	国文学科	大村はま講演集 上 人と学力を育てるために	大村 はま 著	風濤社
49	2004年10月	細川 友秀	理学科	動物と人間の世界認識	日高 敏隆 著	筑摩書房
50	2004年11月	水山 光春	社会科学科	リサイクルアンダーワールド	石渡 正佳 著	WAVE出版
51	2004年12月	奈倉 洋子	英文学科	ブリュッセルへの旅	中野 孝次 著	文芸春秋
同上	同上	奈倉 洋子	英文学科	ブリュッセルの「子供の遊戯」	森 洋子 著	未来社
52	2005年1月	-	-	「なし」	-	-
53	2005年2月	山下 宏文	体育学科	鉄棒する漱石、ハイジャンプの安吾	矢島 裕紀彦 著	NHK出版
54	2005年3月	冷水 來生	発達障害学科	聴覚障害者が見たアメリカ社会 障害者法と情報保 障	しみず よりお 著	現代書館
55	2005年4月	井谷 恵子	体育学科	スポーツ・ジェンダー学への招待	飯田 貴子、井谷 恵子 著	明石出版
56	2005年5月	伊藤 徹	社会科学科	虞美人草	夏目 漱石 著	岩波書店 他
57	2005年6月	村上 登司文	教育学科	愛するということ	エーリッヒ・フロム 著 懸田 克躬 訳	紀伊国屋書店
58	2005年7月	関川 千尋	家政科	これからのすまい 一住様式の話ー	西山 卯三 著	相模書房
59	2005年8月	梶原 裕二	理学科	街道をゆく(全43冊)	司馬 遼太郎 著	朝日新聞社
60	2005年9月	田中 多佳子	音楽科	おたまじゃくし無用論	小泉 文夫 著	いんなあと りっぶ社
61	2005年10月	谷口 淳一	美術科	巨岩と花びら	船越 保武 著	筑摩書房
62	2005年11月	日比 嘉高	国文学科	魂込め(まぶいぐみ)(朝日文庫)	目取真 俊 著	朝日新聞社
63	2005年12月	岡本 正志	附属教育実践総合 センター	シンデレラの時計	角山 栄 著	ほぶら社
64	2006年1月	上田 博之	美術科	桃紅えほん	篠田 桃紅 著	世界文化社
65	2006年2月	渡邊 伸樹	数学科	豚のPちゃんと32人の小学生	黒田 恭史 著	ミネルヴァ書 房
66	2006年3月	中西 洋子	家政科	「幸福な偶然」をつかまえる	日野原 重明 著	光文社
67	2006年4月	和田 萃	社会科学科	死者の書(中公文庫)	折口 信夫 著	筑摩書房
68	2006年5月	小谷 裕実	発達障害学科	チーム・パチスタの栄光	海堂 尊 著	宝島社
69	2006年6月	榎本 靖士	体育学科	走る人!	岡崎 圭 著	吉備人出版
70	2006年7月	土屋 英男	産業技術科学科	食品の裏側	阿部 司 著	東洋経済新報 社
71	2006年8月	坂田 薫子	英文学科	血染めの部屋(ちくま文庫)	アンジェラ・カーター 著 富士川 義之 訳	筑摩書房
72	2006年9月	-	-	「なし」	-	-
73	2006年10月	谷口 匡	国文学科	吉川幸次郎全集	吉川 幸次郎 著	筑摩書房
同上	同上	谷口 匡	国文学科	吉川幸次郎遺稿集	吉川 幸次郎 著	筑摩書房
同上	同上	谷口 匡	国文学科	吉川幸次郎講演集	吉川 幸次郎 著	筑摩書房
74	2006年11月	佐竹 伸夫	数学科	天使と悪魔 上・下	ダン・ブラウン 著 越前 敏弥 訳	角川書店
75	2006年12月	笹野 恵理子	音楽科	ファウジーヤの叫び	ファウジーヤ・カシンジャ、 レイリー・ミラー・パッ シャー 著、大野 晶子 訳	ソニー・マガ ジンス
76	2007年1月	加用 文男	幼児教育科	音読したい英語名言300選:覚えたい順	英語名言研究会 編著	中経出版
77	2007年2月	高嶋 隆一	理学科	神がつくった究極の素粒子 上・下	レオン・レーダーマン 著 高橋 健次 訳	草思社
78	2007年3月	伊藤 悦子	教育学科	知的複眼思考法	刈谷 剛彦 著	講談社
79	2007年4月	梁川 正	附属環境教育実践 センター	” 弁当の日 ” がやってきた	竹下 和男 著	自然食通信社
同上	同上	梁川 正	附属環境教育実践 センター	台所に立つ子どもたち	ファウジーヤ・カシンジャ、 レイリー・ミラー・パッ シャー 著、大野 晶子 訳	自然食通信社
80	2007年5月	浜田 麻里	国文学科	在日外国人 ー法の壁、心の溝ー 新版	田中 宏 著	岩波書店
81	2007年6月	山口 一雄	幼児教育科	保育に生きた人々	岡田 正章 他編著	風媒社
82	2007年7月	井上 えり子	家政科	闇金ウシジマくん 1~8巻(ピッココミックス)	真鍋 昌平 著	小学館
83	2007年8月	村上 忠幸	理学科	ゲド戦記 1~5巻	ルネグウィン 著 清水 真砂子 訳	岩波書店
84	2007年9月	関根 文太郎	産業技術科学科	アバ・ルーム (The Upper Room) ビック・イシュー (The Big Issue)		

85	2007年10月	村田 利裕	美術科	賢者モ来タリテ遊ブベシ 福祉の里 茗荷村への道	田村 一二 著	日本放送出版協会
同上	同上	小豆 恭一	図書館	歴史都市・京都から学ぶ ジュニア日本文化検定テキストブック	京都新聞開発 (株) 編	京都新聞出版センター
86	2007年11月	遠藤 浩	体育学科	夢をかええるソウ	水野 敏也 著	飛鳥新社
87	2007年12月	坂東 忠司	理学科	田んぼの忘れもの	宇根 豊 著	葦書房
88	2008年1月	奈倉 洋子	英文学科	伝説の算数教科書<緑表紙>	松宮 哲夫 著	岩波書店
89	2008年2月	浅井 和行	附属教育実践総合センター	メディア・コントロール ～正義なき民主主義と国際社会～	ノーム・チョムスキー 著 鈴木 主税 訳	集英社
90	2008年3月	平井 恭子	幼児教育科	伝承遊び考 1 絵かき遊び考	加古 里子 著	小峰書店
91	2008年4月	大竹 博巳	数学科	新版 論理トレーニング	野矢 茂樹 著	産業図書
92	2008年5月	二枝 美津子	英文学科	レトリックと人生	G・レイコフ、M・ジョン ジョン 著 渡部 昇一 他訳	大修館書店
93	2008年6月	沖花 彰	理学科	光と物質のふしぎな理論 一私の量子電磁力学	R・P・ファインマン 著 釜江 常好 大貫 昌子 訳	岩波書店
94	2008年7月	水谷 宗行	教育学科	自閉症児イアンの物語 脳と言葉と心の世界	ラッセル・マーティン 著 吉田 利子 訳	草思社
95	2008年8月	柳原 典子	家政科	ぼくの家は「世界遺産」	小松 義夫 著	白水社
96	2008年9月	向井 浩	理学科	パソコンで見る動く分子事典 Windows Vista対応版 分子の三次元構造が見える・わかる	川端 潤 著	講談社
97	2008年10月	安東 茂樹	産業技術科学科	大阪弁「ほんまもん」講座	札埜 和男 著	新潮社
98	2008年11月	石川 誠	美術科	共通感覚論 (岩波現代文庫 他)	中村 雄二郎 著	岩波書店
99	2008年12月	斎藤 百合子	音楽科	恋う・癒す・究める 脳科学と芸術	小泉 英明 編著	工作舎
100	2009年1月	花田 里欧子	附属教育実践総合センター	精神と自然 一生きた世界の認識論一	グレゴリー・ペイトソン 著 佐藤 良明 訳	新思策社
101	2009年2月	中 比呂志	体育学科	ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書 なぜ学び、なにを学ぶのか	7人の特別講義プロジェクト &モーニング編集部 編著	講談社
102	2009年3月	西本 有逸	英文学科	「発達」の最近接領域」の理論	ヴィゴツキー 著 土井捷三、神谷 栄司 訳	三学出版
103	2009年4月	-	-	「なし」	-	-
104	2009年5月	角野 容子	図書館	「大きなかぶ」はなぜ抜けた?: 謎とき世界の民話	小長谷有紀 編	講談社
105	2009年6月	田岡 文夫	社会科学科	日本人はなぜ環境問題にだまされるのか	武田邦彦 著	PHP研究所
106	2009年7月	田中 里志	理学科	教師花伝書 一専門家として成長するために一	佐藤 学 著	小学館
107	2009年8月	小林 良子	美術科	人は成熟するにつれて若くなる	ヘルマン・ヘッセ 著 V・ミヒェルス 編 岡田朝雄 訳	草思社
108	2009年9月	大澤 弘之	音楽科	ベートーヴェン交響曲全集 (CD)	ヘルベルト・フォン・カラヤン 指揮、ベルリンフィルハーモニー	ドイツ・グラモフォン
109	2009年10月	徳岡 慶一	教育学科	時代を拓いた教師たち: 戦後教育実践からのメッセージ	田中耕治 編著	日本標準出版
110	2009年11月	桐木 紳	数学科	機動戦士ガンダム THE ORIGIN 愛蔵版 (1-5巻)	安田良和 著	角川書店
111	2009年12月	谷口 慶祐	理学科	「邪馬台国」はなかった	古田武彦 著	朝日新聞社
112	2010年1月	香川 貴志	社会科学科	バンクーバーはなぜ世界一住みやすい都市なのか	香川貴志 著	ナカニシヤ出版
113	2010年2月	児玉 一宏	英文学科	The Stuff of Thought: Language as a Window into Human Nature	Steven Pinker 著	Viking Press (2007)
114	2010年3月	巻本 彰一	理学科	非線形・非平衡現象の数理	三村昌泰/監修	東京大学出版会
115	2010年4月	平石 隆敏	社会科学科	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海 著	ダイヤモンド社
116	2010年5月	多田 知正	産業技術科学科	仏教は心の科学	アルボムッレ・スマナサーラ	宝島社
117	2010年6月	饗場 知昭	音楽科	すべては宇宙の采配	木村秋則 著	東邦出版株式会社
118	2010年7月	金森 悠一	図書館	猫でもわかるC言語プログラミング	桑井康孝 著	ソフトバンククリエイティブ
119	2010年8月	谷口 和成	理学科 准教授	ことばを鍛えるイギリスの学校 国語教育で何ができるか	山本麻子 著	岩波書店
120	2010年9月	泉 恵美子	英文学科 教授	つながる脳	藤井直敏 著	NTT出版
121	2010年10月	中峯 浩	産業技術科学科 准教授	総員玉砕せよ!	水木しげる 著	講談社
同上	同上	中峯 浩	産業技術科学科 准教授	名探偵の掟	東野圭吾 著	講談社
122	2010年11月	荻野 雄	社会科学科 准教授	作ることの日本近代 一九一〇一四〇年代の精神	伊藤徹 編	世界思想社
123	2010年12月	石川 誠	社会科学科 准教授	イノベーションのジレンマ 技術革新が巨大企業を滅ぼすとき一	クレイトン・クリステンセン 編	翔泳社
124	2011年1月	-	-	「なし」	-	-
125	2011年2月	中野 英之	理学科 准教授	生きがいの創造 “生まれ変わりの科学” が人生を変える	飯田史彦 著	PHP研究所
126	2011年3月	湯川 夏子	家政科 准教授	伝わる・揺さぶる! 文章を書く	山田スズニー 著	PHP研究所
127	2011年4月	-	-	「なし」	-	-
128	2011年5月	松良 俊明	理学科 教授	ハチはなぜ大量死したのか	ローワン・ジェイコブセン 著	文藝春秋社
129	2011年6月	丸山 啓史	発達障害学科 講師	これでいいのだ 怠けの哲学	トム・ホジキンソン 著	ウィレッジブックス
130	2011年7月	延原 理恵	家政科 准教授	ストリート・ウォッチング 一路上観察と心理学的街遊びのヒント	小林茂雄、東京都市大学小林研究室 著	誠信書房
131	2011年8月	安江 勉	美術科 准教授	ロバート・メイブルソープ写真集	リチャード・ビーチ 著	UPLINK
132	2011年9月	寺田 守	国文学科 准教授	教師のための読者反応理論入門一読むことの学習を活性化するために一	山元隆春 訳	溪水社
133	2011年10月	深尾 武史	数学科 准教授	個性を引き出すスポーツトレーニング	立花龍司 著	岩波書店
134	2011年11月	吉江 崇	社会科学科 准教授	聖武天皇と仏都平城京	吉川真司 著	講談社
135	2011年12月	山口 博明	音楽科 准教授	スティーフ・ジョブズ 驚異のプレゼン: 人々を惹きつける18の法則	カーマイン・ガロ 著 井口耕二 訳	日経BP社
136	2012年1月	郷岡 英世	発達障害科 教授	女は人生で三度、生まれ変わる 一脳の変化でみる女の一生	ローアン・プリゼンティーン 著	草思社
137	2012年2月	相澤 伸幸	教育学科 准教授	眼の海	辺見庸 著	毎日新聞社

138	2012年3月	丹下 裕史	美術科 准教授	刻々の炎	八木一夫 著	駸々堂出版
138	2012年3月	丹下 裕史	美術科 准教授	オブジェ焼き：八木一夫陶芸随筆	八木一夫 著	講談社
139	2012年4月	太田 耕人	英文学科 教授	ロミオとジュリエット	ウィリアム・シェイクスピア	* 複数訳本紹介
140	2012年5月	芝原 寛泰	理学科 教授	だれが原子をみたか	江沢洋 著	岩波書店
141	2012年6月	Andrew Obermeier	英文学科 准教授	Charlotte's Web	by E.B. White, illustrated by Garth Williams	Penguin
141	2012年6月	Andrew Obermeier	英文学科 准教授	シャーロットのおくりもの	E.B.ホワイト作；ガース・ウィリアムズ絵；さくまゆみこ	あすなろ書房
142	2012年7月	武島 良成	社会科学科 准教授	水滸伝	北方謙三 著	集英社
143	2012年8月	藤岡 秀樹	教育学科 教授	学校心理学：教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス	石隈利紀 著	誠信書房
144	2012年9月	藪根 敏和	体育学科 教授	論語 (岩波文庫)	[孔子著] 金谷治訳注	岩波書店
同上	同上	藪根 敏和	体育学科 教授	現代語訳論語 (岩波現代文庫)	宮崎市定 著	岩波書店
145	2012年10月	金森 悠一	附属図書館職員	ハーバード白熱日本史教室	北川智子 著	新潮社
146	2012年11月	佐藤 克敏	発達障害学科 教授	取調室の心理学	浜田寿美男 著	平凡社
147	2012年12月	樋口 とみ子	教育支援センター 准教授	内発的発展論の展開	鶴見和子 著	筑摩書房
148	2013年1月	柳本 哲	数学科 教授	伝説の算数教科書<緑表紙>塩野直道の考えたこと	松宮哲夫 著	岩波書店
149	2013年2月	二枝 美津子	英文学科 教授	金融商品取引法	小川宏幸著	新世社
150	2013年3月	西村 佐彩子	教育学科 講師	人生から学ぶ：ひとりの精神分析家になること	パトリック・ケースメント著；松木邦裕監訳；山田信訳	岩崎学術出版社
151	2013年4月	-	-	「なし」	-	-
152	2013年5月	-	英語領域専攻 A.T	Remote Control	Kotaro Isaka ; translated by Stephen Snyder	Kodansha International
同上	同上	-	連合教職実践研究科 RH	カラフル	森絵都著	講談社
153	2013年6月	古賀 松香	幼児教育科 准教授	保育の体験と思索：子どもの世界の探究	津守真 著	大日本図書
154	2013年7月	日向野 隆司	理事・事務局長	一瞬で自分を勇気づける仕事に必要な言葉：これから生き抜くために	島田精一著	かんき出版
155	2013年8月	角野 容子	図書館スタッフ	角野さんによる購読雑誌の紹介	-	-
156	2013年9月	太田 耕人	附属図書館長	えほんのせかい こどものせかい	岡享子 著	日本エディタースクール出版部
157	2013年10月	-	-	「なし」	-	-
158	2013年11月	-	学部生・社会領域専	ほくが宇宙人をさがす理由	鳴沢真也著	旬報社
同上	同上	-	学部生・国語領域専	天翔る	村山由佳著	講談社
同上	同上	-	学部生・美術領域専	武器としての決断思考	瀧本哲史著	星海社
同上	同上	-	学部生・技術領域専	臨場	横山秀夫著	光文社
同上	同上	-	院生・学校教育専修	精神分析の四基本概念：1964	ジャック・ラカン [述]；ジャック・アラン・ミレール 編；小出浩之 [ほか] 訳	岩波書店
159	2013年12月	深沢 太香子	家政科 准教授	はだかの起原：不適者は生きのびる	島泰三著	木楽舎
160	2014年1月	中俣 尚己	国文学科 講師	ヴァーチャル日本語役割語の謎	金水敏著	岩波書店
161	2014年2月	横山 知郎	数学科 准教授	岩波数学辞典	日本数学会編集	岩波書店
162	2014年3月	原田 信一	産業技術科学科 准教授	宮大工棟梁・西岡常一「口伝」の重み	西岡 常一著	日本経済新聞社
163	2014年4月	小笠原 真也	音楽科 教授	主題と変奏	吉田 秀和著	中央公論新社
164	2014年5月	田川 宏二	教育学科 准教授	ワーキングメモリと学習指導—教師のための実践ガイド	S.E.ギャザコール, T.P.アロウェイ著；湯澤正通, 湯澤美	北大路書房
165	2014年6月	関口 久志	教育支援センター 教授	援デリの少女たち	鈴木大介著	宝島社
166	2014年7月	森 孝宏	保健管理センター 教授	ガラスの動物園	T・ウィリアムズ [著]；小田島雄志訳	新潮社
167	2014年8月	小林 稔	教職キャリア高度化センター 教授	命の格差は止められるか	イチロー・カワチ著	小学館
168	2014年9月	小山 宏之	体育学科 講師	「言語技術」が日本のサッカーを変える	田嶋幸三著	光文社
169	2014年10月	-	-	「なし」	-	-
170	2014年11月	田邊 織恵	音楽科 准教授	戯曲『黄金の国』（『遠藤周作文学全集』9巻所収）	遠藤周作著	新潮社
171	2014年12月	黒田 恭史	数学科 教授	つながる脳	藤井直敬 著	NTT出版
172	2015年1月	天野知幸	国文学科 准教授	献灯使	多和田葉子著	講談社
173	2015年2月	-	-	「なし」	-	-
174	2015年3月	伊藤 崇達	教育学科 准教授	ピア・ラーニング - 学びあいの心理学 -	中谷素之・伊藤崇達 (編著)	金子書房
175	2015年4月	-	-	「なし」	-	-
176	2015年5月	-	-	「なし」	-	-
177	2015年6月	-	-	「なし」	-	-
178	2015年7月	齋藤 正治	本学 学長補佐	銃・病原菌・鉄：一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎 (上・下)	ジャレット・ダイヤモンド著；倉骨彰訳	草思社
179	2015年8月	角野 容子	附属図書館職員	この辞書・事典が面白い!：「辞書」「事典」「図鑑」ベストランキング発表	室伏哲郎監修	トラベルジャーナル
180	2015年9月	今井 健介	理学部 准教授	協力と罰の生物学	大槻久著	岩波書店
181	2015年10月	西井 薫	教育支援センター 教授	使いこなしてみたい和の言葉	本郷陽二著	実務教育出版
182	2015年11月	植山 俊宏	国文学科 教授	季語集	坪内稔典著	岩波書店
183	2015年12月	今野 勝明	教育支援センター 准教授	項羽と劉邦	司馬遼太郎著	新潮社
184	2016年1月	芝原 寛泰	理学科 教授	シャボン玉の世界	ボイズ著；野口広訳	東京図書
185	2016年2月	山下 宏文	社会科学科 教授	森林飽和：国土の変貌を考える	太田猛彦著	NHK出版
186	2016年3月	位藤 紀美子	本学 学長	何のために「学ぶ」のか	外山滋比古 [ほか] 著；桐光学園, ちくまプリマー新書編集	筑摩書房
187	2016年4月	土屋 雄一郎	社会科学科 准教授	六ヶ所村の記録：核燃料サイクル基地の素顔	鎌田慧著	岩波書店
188	2016年5月	谷口 匡	国文学科 教授	一海知義の漢詩道場	一海知義編	岩波書店
189	2016年6月	坂東 忠司	理学科 教授	ほめると子どもはダメになる	榎本博明著	新潮社
190	2016年7月	比良 友佳理	社会科学科 講師	フランス7つの謎	小田中直樹著	文藝春秋
191	2016年8月	岡田 敏之	教育支援センター 教授	嫌われる勇氣	岸見一郎, 古賀史健著	ダイヤモンド社
192	2016年9月	佐藤 美幸	発達障害学科 准教授	問いつめられたパパとママの本	伊丹十三著	新潮社
193	2016年10月	神代 健彦	教育学科 講師	無限論の教室	野矢茂樹著	講談社
194	2016年11月	橋本 京子	教職キャリア高度化センター 教授	橋をかける：子供時代の読書の思い出	美智子著	文藝春秋

195	2016年12月	小松崎 敏	体育学科 准教授	おばあちゃんの時計	ジェラルディン・マッコリー リン文；スティーブン・ラン パート絵；まつかわまゆみ	評論社
196	2017年1月	南山 泰宏	環境教育実践センター 教授	植物図鑑	有川浩著	角川書店
197	2017年2月	笠沙 知章	連合教職実践科 教授	誤植読本	高橋 輝次編著	筑摩書房
198	2017年3月	牛山 道雄	発達障害学科 准教授	グレート・ギャツビー	スコット・フィッツジェラルト 作；野崎孝訳	新潮社
199	2017年4月	-	-	「なし」	-	-
200	2017年5月	水山 光春	社会科学科 教授	やり抜く力：人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける	アンジェラ・ダックワース著 ；神崎朗子訳	ダイヤモンド社



クエリの森 URL: <http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>

「論のくちび 理のむすび」とは、本学の先生方が書かれた論文を、執筆者の先生ご本人に紹介していただく連載記事です。近年では主に本学紀要に投稿された論文を紹介していただいています。本学紀要は一部を除いて、本学の機関リポジトリ「クエリの森」で本文を公開していますので、興味を持たれた方は是非論文の本文もお読みください。

今回は200号を記念して、第1回にあたる図書館ニュース38号掲載分から本号までの一覧をご紹介します！



※著者の所属等は、当時の所属です。

発行号	発行年月	タイトル	著者	所属
38	2003年11月	中国の科学技術政策の現状と課題—WTO加盟との関係—	石川 誠	社会科学科 助教授
39	2003年12月	家庭科における開発教育のカリキュラムの検討	榊原 典子	家政科 助教授
40	2004年1月	中国人女性のボディイメージ的アプローチ(英文)	大森 美香	附属教育実践総合センター 講師
41	2004年2月	『柳宗悦 手としての人間』(平凡社選書221)	伊藤 徹	社会科学科 助教授
42	2004年3月	プログラミング学習のデバッグ段階に影響を与える要因	古谷 博史	産業技術科学科 教授
43	2004年4月	連鎖不平衡係数を用いた交叉法の比較	古谷 博史	産業技術科学科 教授
44	2004年5月	京都府下における児童生徒の肥満・やせ傾向について	井上 文夫	体育学科 教授
45	2004年6月	高校生における学級風土と学校生活意識	松井 仁	教育学科 教授
46	2004年7月	校長会の組織実態と学校の自律性確立課題—全国公立小中学校校長会に対する質問紙調査を通じ	堀内 孜	教育学科 教授
47	2004年8月	京都教育大学の『必修英語カリキュラム』に関する現状と課題—評価制度の導入—	Andrew Obermeier	英文学科 外国人教師
48	2004年9月	家庭科住居領域におけるコンピュータを導入した教材開発のための基礎的研究—高校生のコンピュータ環境について—	関川 千尋	家政科 教授
49	2004年10月	自尊心と道徳性	平石 隆敏	社会科学科 教授
50	2004年11月	メラノーマの転移と抗腫瘍免疫機能に及ぼす交流電磁場の影響	細川 友秀	理学科 教授
51	2004年12月	バブル期前後の東京大都市圏における分譲マンションの供給動向と価格推移	香川 貴志	社会科学科 助教授
同上	同上	バブル期前後の京阪神大都市圏における分譲マンションの供給動向と価格推移	香川 貴志	社会科学科 助教授
52	2005年1月	探偵小説の哲学(1): シークフリート・クラカウアーの出发点	荻野 雄	社会科学科 准教授
同上	同上	探偵小説の哲学(2): 大衆文化の「解読」	荻野 雄	社会科学科 准教授
53	2005年2月	場所の追憶(1)—道の錯綜	伊藤 徹	社会科学科 助教授
54	2005年3月	黎明期のドイツ映画と日本	奈倉 洋子	英文学科 教授
55	2005年4月	柳宗悦における「文化」と「政治」—沖繩方言論争を中心にして—	荻野 雄	社会科学科 准教授
56	2005年5月	英語中間構文に関する認知言語学的考察	二枝 美津子	英文学科 助教授
57	2005年6月	ロボットコンテストにおける創造性の育成	関根 文太郎	産業技術科学科 教授
58	2005年7月	小学生の足底形成と不定愁訴との関連	井上 文夫	体育学科 教授
59	2005年8月	昭和戦前の家事教育と「文検家事」受験ネットワーク(1)	井上 えり子	家政科 助教授
同上	同上	昭和戦前の家事教育と「文検家事」受験ネットワーク(2)	井上 えり子	家政科 助教授
60	2005年9月	「日本語教室」における来日・帰国外国人児童生徒への支援の現状と課題—日本語教室担当者への聞き取り調査を通して—	本間 友巳	附属教育実践総合センター 教授
61	2005年10月	シークフリート・クラカウアーの奇妙な唯物論—神学からマルクス主義へ—	荻野 雄	社会科学科 助教授
62	2005年11月	恋という病—ジェイン・オースティンの『説得』について	坂田 薫子	英文学科 助教授
同上	同上	脇役たちの言い分—社会文化史から読み解く『分別と多感』	坂田 薫子	英文学科 助教授
63	2005年12月	紀伊半島南東沖地震2004(その1)	谷口 慶祐	理学科 講師
64	2006年1月	「荒れ」の【原因】・【経過】・【終息】プロセス	内田 利広	教育学科 助教授
65	2006年2月	生活クラブ生協再考—生活クラブ生協の「衰退」をめぐる仮説群の整理—	西城戸 誠	社会科学科 助教授
66	2006年3月	生徒指導主任の業務に対する意識調査	内田 利広	教育学科 助教授
67	2006年4月	小学校家庭科と関連させた「総合的な学習の時間」の構築—草木染めの教材化—	後藤 景子	家庭科 教授
68	2006年5月	京都師団の日常—文献史料による「戦中遺跡」の検証—	武島 良成	社会科学科 准教授
69	2006年6月	言語発達障がいに対する手話を用いたコミュニケーションプログラムについて	冷水 來生	発達障害学 教授
70	2006年7月	シークフリート・クラカウアーの新中間層論	荻野 雄	社会科学科 助教授

71	2006年8月	児童の食生活と保護者の食意識および家庭での食教育-低学年児童と高学年児童の比較-	中西 洋子	家庭科 教授
72	2006年9月	特許制度の経済的機能に関する一考察	石川 誠	社会科学科 助教授
73	2006年10月	教師のバーンアウトと諸要因-ストレス、効力感、対処行動をめぐって-	松井仁	教育学科 教授
74	2006年11月	いじめ被害中学生によるいじめへの対処と解決	本間 友巳	附属教育実践総合センター 教授
75	2006年12月	絡みあう「並木」-日本近代文学と日系アメリカ移民の日本語文学-	日比 嘉高	国文学科 講師
76	2007年1月	高齢者集合住宅に関する研究-コレクティブハウジングの事例を通して-	関川 千尋	家政科 教授
77	2007年2月	手話を使用した言語発達遅滞児のコミュニケーション指導について-ケース報告-	冷水 來生	発達障害学 教授
78	2007年3月	Enter above.(1)-エリザベス朝演劇の二階舞台における登場と退場-	太田 耕人	英文学 教授
79	2007年4月		なし	
80	2007年5月	植物組織を観察する教材としてのハツカダイコン-子葉組織に見られる核の消失-	梶原 裕二	理学科 准教授
81	2007年6月	小学校英語教育における担任の役割と指導者研修	泉 恵美子	英文学 准教授
82	2007年7月	家族関係と児童の抑うつ・不安感に関する研究-子どもの認知する家族関係-	内田 利弘	教育学 准教授
83	2007年8月	パソコンメールと携帯メールで作成されたレポートの文章の比較	佐々木 真理	総合センター 教授
84	2007年9月	レイプとその表象-『レイプ神話』とイギリス文学(1)	坂田 薫子	英文学 准教授
85	2007年10月		なし	
86	2007年11月	砂州地形に関する用語と湾口砂州の形成プロセス	武田 一郎	社会科学科 教授
87	2007年12月	「上海市の都市部における居住空間の変化と再構築」-上海市芦湾区を例として-	香川 貴志	社会科学科 教授
88	2008年1月	教育相談に求められるSCとの連携についての一考察	内田 利弘	教育学 准教授
89	2008年2月	クラカウアーの『カリガリからヒトラへ』(1)	荻野 雄	社会科学科 准教授
同上	同上	クラカウアーの『カリガリからヒトラへ』(2)	荻野 雄	社会科学科 准教授
90	2008年3月	ミラジュ・ターンフラーはなぜ良いのか-インディの楽器職人たちの系譜と現状に関する一考察	田中 多佳子	音楽科 准教授
91	2008年4月	背負投の胴体操作の意義に関する研究	藪根 敏和	体育学 教授
92	2008年5月	「高齢者施設における「リハビリ」の試み」-片麻痺認知症高齢者を対象とした事例報告-	湯川 夏子	家政科 准教授
93	2008年6月	プレスの自由と社会的責任論	平石 隆敏	社会科学科 教授
94	2008年7月	京都教育大学における利用者参加型学校トイレ改善プロジェクト	井上 えり子	家政科 教授
95	2008年8月	中学校の歴史教科書で使用する写真に関する一考察-第一次世界大戦から太平洋戦争まで-	武島 良成	社会科学科 准教授
96	2008年9月	二フトリ卵殻膜を用いた半透性を示す実験	梶原 裕二	理学 准教授
97	2008年10月	幼稚園・保育園における「気になる子」に対する保育上の困難さについての調査研究	郷間 英世	発達障害学 教授
98	2008年11月	学校組織構造のメタファー	神原 慎宏	教育学 教授
99	2008年12月	都道府県における人権教育・啓発計画の現状と特徴	伊藤 悦子	教育学 教授
100	2009年1月	制服を利用した衣生活教育カリキュラムの提案	後藤 景子	家政科 教授
101	2009年2月	免疫系における交差反応と免疫記憶の仕組み-幼児期における言語習得との比較	細川 友秀	理学 教授
102	2009年3月	環境保全先進国ドイツの地理教科書の読解(1)-Westermann社SchroedelブランドのSeydlitz Geographie Gymnasium Niedersachsen9/10の例-	香川 貴志	社会科学科 教授
103	2009年4月		なし	
104	2009年5月	How to Develop Teacher Autonomy through Classroom Research (授業研究を通して教師の自律を促進する試み)	泉 恵美子	英文学 准教授
105	2009年6月	『涙が出るほどの笑い』はいつ頃見られるようになるか?	加用 文男	幼児教育学 教授
106	2009年7月	特別支援学校に通う障害のある子どもの放課後・休日支援の現状と課題-京都府における保護者対象質問紙調査よ	丸山 啓史	発達障害学 講師
107	2009年8月		なし	
108	2009年9月	沈黙の共同体から語りの協同体へ-戦前期大熊信行の思想-	荻野 雄	社会科学科 准教授
109	2009年10月	小学生の歩き足(不接地足)と生活習慣に関する調査	井上 文夫	体育学 教授
110	2009年11月	「く道徳」とく倫理」の前提的境域設定に関する教育学的考察	相澤 伸幸	教育学 准教授
111	2009年12月	「健康な学校」と学校経営論のリデザイン	神原 慎宏	教育学 教授
112	2010年1月	技術科教育の教授過程におけるフローな状態の存在	安東 茂樹	産業技術科 教授
113	2010年2月	「幼児のけんかやいざこざ」にどう関わるか-学生、保護者、幼稚園教員、保育園保育士の場合	森山 卓郎	国文学 教授
114	2010年3月	教員の職務実態からする「少人数学級」の意義と効果-参与観察調査、質問紙調査による「少人数教育」の検討(1)	堀内 孜	連合教職実践研究科 教授
同上	同上	教員の職務実態からする「複数担任学級」の意義と効果-参与観察調査、質問紙調査による「少人数教育」の検討(2)	堀内 孜	連合教職実践研究科 教授
115	2010年4月	学級担任が「気になる」児童生徒についての調査研究(1)-京都府の小学校学級担任への調査から-	相澤 雅文	特別支援教育臨床実践センター 准教授
同上	同上	学級担任が「気になる」児童生徒についての調査研究(2)-京都府の中学校学級担任への調査から-	相澤 雅文	特別支援教育臨床実践センター 准教授
116	2010年5月	格標示の意味	二枝 美津子	英文学 教授
117	2010年6月	日本占領期のビルマにおける米不足再考-戦争末期のチャン連合州を中心に-	武島 良成	社会科学科 准教授
118	2010年7月	教職大学院における授業改善・FD活動-京都教育大学大学院連合教職実践研究科の事例研究-	片山 紀子	連合教職実践研究科 教授
119	2010年8月	基礎的科目における「地理学」の導入部分の工夫	香川 貴志	社会科学科 教授
120	2010年9月	“スクールカウンセラーが授業に関わることについての実践研究”-教員と行った「人との関わり方を学ぶ」授業をとおして-	内田 利弘	教育学 准教授
121	2010年10月	プログラミング教育における反復学習を採り入れた授業方式	多田 知正	産業技術科学科 講師
122	2010年11月	子どもから見た家庭の食卓風景と健康-働きの家族画での検討~	井上 文夫	体育学 教授
123	2010年12月	第19旅団司令部と京都連隊司令部の来歴-京都教育大学内の戦争遺跡をめぐって-	武島 良成	社会科学科 准教授
124	2011年1月	求められる生徒指導主事像-中学校生徒指導主事へのアンケートから-	片山 紀子	連合教職実践研究科 教授
125	2011年2月	現代幼児の人物画描き進捗と気になる子の描画-グッドイフ人物画検査を用いた検討	郷間 英世	発達障害学 教授
126	2011年3月	教育資源の「適正」配置に関する基礎的研究-高等学校長のキャリアプロセスの観点から-	松村 千鶴	教育支援センター 教授
127	2011年4月	通常の学級における適応に困難さのある児童への対応-小学校のLD等通級指導教室への調査研究を通して-	相澤 雅文	特別支援教育臨床実践センター 准教授
128	2011年5月	小学校における動物発生・再生現象を取り上げた先端科学技術の授業例	梶原 裕二	理学 教授
129	2011年6月	Search for the Ultimate Real: the Collapse of Narrative in Shirley	奥村 真紀	英文学 准教授
130	2011年7月	戦時下の京都師範学校の教育-1945(昭和20)年における学校長作文を資料として-	村上 登司文	教育学 教授
131	2011年8月	国語科の学校文法における「品詞」について	森山 卓郎	国文学 教授
132	2011年9月	食物提供後の時間経過にともなう食物温度の変化-非接触型放射温度計による食物表面温度の測	中西 洋子	家政科 教授
133	2011年10月	指導要録の変遷と教育評価の課題-1980年代以降に焦点をあてて-	藤岡 秀樹	教育学 教授
134	2011年11月	親の自律的動機づけと子どもの学習観、自己効力感、自律的動機づけとの関連	伊藤 崇達	教育学 准教授
135	2011年12月	奈良電気鉄道の大淵橋梁と高梁橋の神話	武島 良成	社会科学科 准教授
136	2012年1月	鬼ごっこ・隠れんぼにおける「わざと捕まる」違反行動の発達の残存性	加用 文男	幼児教育学 教授
137	2012年2月	小学校音楽科における鑑賞教材への効果的アプローチ	小笠 原真也	音楽科 准教授
138	2012年3月	Transformation of and Prospects for Educational Anthropological Studies in Postwar Japan (戦後日本における教育人間学の変遷と展望)	岡部 美香	教育学 准教授
139	2012年4月	清水幾太郎における自然と人為(1):関東大震災の経験	荻野 雄	社会科学科 准教授
同上	同上	清水幾太郎における自然と人為(2):平和運動と転向	荻野 雄	社会科学科 准教授
140	2012年5月	W. S. グレイのリテラシー論における機能について:「成熟した読み」の指標化に焦点をあてて	樋口とみ子	教育支援センター 准教授
141	2012年6月	大正琴の伝播と変容-台湾、インドネシアおよびインドの事例-	田中 多佳子	音楽科 教授
142	2012年7月	放射能汚染の土壌調査への参加と移動型放射線計測装置の研究	高嶋 隆一	理学 准教授
143	2012年8月	教員属性、研修参加状況と教師の自己効力感及び教職に関する認知との関連:沖縄県島尻地区の小・中学校教員を対象として	小林 稔	教育支援センター 准教授
144	2012年9月	曖昧性耐性と文脈情報の利用がアイロニー理解に及ぼす影響	西村 佐彩子	教育学 講師
145	2012年10月	「技術科教育」における指導と評価の一体化-「ガイダンス」の適切な指導と評価方法の提案-	関根 文太郎	産業技術科学科 教授

74	2006年11月	いじめ被害中学生によるいじめへの対処と解決	本間 友巳	附属教育実践総合センター 教授
75	2006年12月	絡みあう「並木」—日本近代文学と日系アメリカ移民の日本語文学—	日比 嘉高	国文学科 講師
76	2007年1月	高齢者集合住宅に関する研究—コレクティブハウジングの事例を通して—	関川 千尋	家政科 教授
77	2007年2月	手話を使用した言語発達遅滞児のコミュニケーション指導について—ケース報告—	冷水 來生	発達障害学科 教授
78	2007年3月	Enter above.(1)—エリザベス朝演劇の二階舞台における登場と退場—	太田 耕人	英文学科 教授
79	2007年4月		なし	
80	2007年5月	植物組織を観察する教材としてのハツカダイコン—子葉組織に見られる核の消失—	梶原 裕二	理学科 准教授
81	2007年6月	小学校英語教育における担任の役割と指導者研修	泉 恵美子	英文学科 准教授
82	2007年7月	家族関係と児童の抑うつ・不安感に関する研究—子どもの認知する家族関係—	内田 利弘	教育学科 准教授
83	2007年8月	パソコンメールと携帯メールで作成されたレポートの文章の比較	佐々木 真理	総合センター 教授
84	2007年9月	レイプとその表象—『レイプ神話』とイギリス文学(1)	坂田 薫子	英文学科 准教授
85	2007年10月		なし	
86	2007年11月	砂州地形に関する用語と湾口砂州の形成プロセス	武田 一郎	社会科学科 教授
87	2007年12月	「上海市の都心部における居住空間の変化と再構築」—上海市芦湾区を例として—	香川 貴志	社会科学科 教授
88	2008年1月	教育相談に求められるSCとの連携についての—考察	内田 利弘	教育学科 准教授
89	2008年2月	クラカウアーの『カリガリからヒトラへ』(1)	荻野 雄	社会科学科 准教授
90	同上	クラカウアーの『カリガリからヒトラへ』(2)	荻野 雄	社会科学科 准教授
91	2008年3月	ミラジュ・ターンブラーはなぜ良いのか—インドの楽器職人たちの系譜と現状に関する—考察	田中 多佳子	音楽科 准教授
92	2008年4月	背負投の胴体操作の意義に関する研究	数根 敏和	体育学科 教授
93	2008年5月	「高齢者施設における「料理療法」の試み」—片麻痺認知症高齢者を対象とした事例報告—	湯川 夏子	家政科 准教授
94	2008年6月	フランスの自由と社会的責任理論	平石 隆敏	社会科学科 教授
95	2008年7月	京都教育大学における利用者参加型学校トイレ改善プロジェクト	井上 えり子	家政科 教授
96	2008年8月	中学校の歴史教科書で使用する写真に関する—考察—第一次世界大戦から太平洋戦争まで—	武島 良成	社会科学科 准教授
97	2008年9月	ニワトリ卵殻膜を用いた半透性を示す実験	梶原 裕二	理学科 准教授
98	2008年10月	幼稚園・保育園における「気になる子」に対する保育上の困難さについての調査研究	郷間 英世	発達障害学科 教授
99	2008年11月	学校組織構造のメタファー	榊原 禎宏	教育学科 教授
100	2008年12月	都道府県における人権教育・啓発計画の現状と特徴	伊藤 悦子	教育学科 教授
101	2009年1月	制服を利用した衣生活教育カリキュラムの提案	後藤 景子	家政科 教授
102	2009年2月	免疫系における交差反応と免疫記憶の仕組み—幼児期における言語習得との比較	細川 友秀	理学科 教授
103	2009年3月	環境保全先進国ドイツの地理教科書の読解(1)—Westermann社SchroedelブランドのSeydlitz Geographie Gymnasium Niedersachsen9/10の例—	香川 貴志	社会科学科 教授
104	2009年4月		なし	
105	2009年5月	How to Develop Teacher Autonomy through Classroom Research (授業研究を通して教師の自律を促進する試み)	泉 恵美子	英文学科 准教授
106	2009年6月	『涙が出るほどの笑い』はいつ頃見られるようになるか?	加用 文男	幼児教育学科 教授
107	2009年7月	特別支援学校に通う障害のある子どもの放課後・休日支援の現状と課題—京都府における保護者対象質問紙調査よ	丸山 啓史	発達障害学科 講師
108	2009年8月		なし	
109	2009年9月	沈黙の共同体から語りの協同体へ—戦前前期大熊信行の思想—	荻野 雄	社会科学科 准教授
110	2009年10月	小学生の浮き趾(不接地趾)と生活習慣に関する調査	井上 文夫	体育学科 教授
111	2009年11月	「く道徳」とく倫理」の前提的境界設定に関する教育学的考察	相澤 伸幸	教育学科 准教授
112	2009年12月	「健康な学校」と学校経営論のリデザイン	榊原 禎宏	教育学科 教授
113	2010年1月	技術科教育の教授過程におけるフローな状態の存在	安東 茂樹	産業技術科 教授

184	2016年1月	「小学校教職専門実習における学級経営観の変化—担任教育に着目した教職大学院生1年生の質的研究—」論文執筆に当たって	石川 美智子	大学院連合教職実践研究科(佛教大学・教授)
185	2016年2月	食育の系統化に関する研究(II)—「食」を核にした市民教育カリキュラムの構想に向けて—	広木 正紀	京都教育大学 名誉教授
186	2016年3月	沖縄県座喜味城跡陣地の日本軍	武島 良成	社会科学科 准教授
187	2016年4月	ライフキャリアの能力・態度、エンゲージメントと自己調整学習との関係	伊藤 崇達	教育学科 准教授
188	2016年5月	効果的な「別室登校」児童生徒支援に関する—考察—教職員間の情報共有を巡って—	小泉 隆平	元 大学院連合教職実践研究科 准教授 (現 近畿大学総合社会学部 教授)
189	2016年6月	地域の自然に関する科学的知見を教材化して児童の郷土愛を醸成する試み—「霊山の古火山を復元する」授業実践—	中野 英之	理学科 准教授
190	2016年7月	日本とドイツの数学教育に関する比較研究—バイエルン州ギムナジウムの教科書における—考察	柳本 哲	数学科 教授
191	2016年8月	校長のライフコースの研究(1)	藤岡 秀樹	教育学科 教授
192	2016年9月	方言教育の現在と未来—紀要論文「関西における方言教育の実践紹介及びその特徴について」よ	札埜 和男	附属高校 教諭
193	2016年10月	投技の動き作りにおける足型シートの有効性の検討	数根 敏和	体育学科 教授
194	2016年11月	異学年合同給食が児童の社会性の育成に及ぼす影響	井上 文夫	体育学科 教授
195	2016年12月	話者の判断の表れた言葉に着目する文学の学習—中学2年生「タオル」(重松清)の授業—	寺田 守	国文学科 准教授
196	2017年1月	簡易凍結徒手切片法を用いた組織観察による多様な動物の構造と系統を学ぶ実験	梶原 裕二	理学科 教授
197	2017年2月	子どもの貧困の現状と課題:教員が貧困問題に気付くための視点と支援の手立ての検討	杉井 潤子	家政科 教授
198	2017年3月	「学校臨床力」の観点からみた教師の省察を深める事例研究会:教職大学院における事例研究の	角田 豊	連合教職実践研究科 教授
199	2017年4月	What Can We Learn by Comparing Teacher Education in Japan and England? (日英の教員養成の比較から何が学べるか)	Andrew Obermeier	英文学科 准教授
200	2017年5月	自閉症児教育において、事例を書くこと・語り合うことの意義	早川 透	附属特別支援学校 教諭



京都教育大学  
それはかなう夢講座

おにぎり2個  
&お茶付き!  
先着30名

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

### 第6回のお知らせ

【日時】2017年5月24日(水) 12:10~12:40  
【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ  
【講師】浅井 和行 (大学院連合教職実践研究科 教授)  
【テーマ】1枚の写真から



写真：浅井和行 教授

#### 【概要】

私自身が海外で撮影してきた写真や報道写真を見てもらいながら、その写真から垣間見える社会の背景について考えます。

私は一昨年度までの3年間、附属桃山小学校の校長を兼任していました。その折、始業式で子どもたちに写真を1枚ずつ見せながら5分間の授業を行ってきました。

ぼんやりしていると見えないことが、じっくり見ると色々と見えてきます。皆さんにはどんなことが見えてくるのでしょうか。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト準備WG  
後援：京都教育大学同窓会（申請中）・京都教育大学附属図書館

### リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

- ・学習研究目的のものは原則として購入します。
- ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受付した分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。結果によっては購入できないこともあります。リクエストや投票にどんどん参加してください！

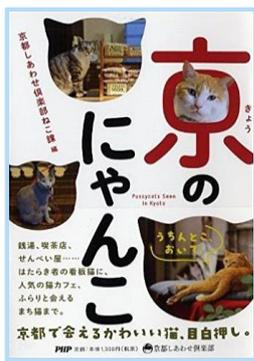
読みたい本に投票しよう！  
(1日1ポイントまで)

※5月の投票期間は変則で**5月1日(月)～5月18日(木)**となっています。  
※図書館1階渡り廊下と北館2階研修セミナー室前に掲示します。

リクエストは随時受付中です

※リクエスト方法については、館内掲示をご覧ください。

前は、  
こんな本を  
購入しました！



## 電子書籍の提供を開始しました!

図書館では、新たに "Maruzen eBook Library" という電子書籍サービスの提供を開始しました。英語学習用の資料を 88 冊用意しています。また、学認という認証サービスを利用して、学外のどこからでも自分のスマホや PC を通じてアクセスすることも可能です!

詳細は、ホームページやポスターで!

電子書籍の提供を開始しました!

図書館では、新たに "Maruzen eBook Library" という電子書籍サービスの提供を開始しました。英語学習用の資料を 88 冊用意しています。また、学認という認証サービスを利用して、学外のどこからでも自分のスマホや PC を通じてアクセスすることも可能です!

購入タイトル例

- MACMILLAN READER シリーズ
- ウィコキキ (全 10 巻)
- TOEIC 対策 Part 3&4 聴き取り音声 (ITTS 超ハイクラスシリーズ)
- TOEIC TEST 音声 (聴き取り音声と対訳) 問題集 後訂版
- TOEIC TEST 英文法とリスニング 後訂版
- TOEIC 対策 非公式問題集 音声の 400 問 - 非公式問題集 -
- Standard vocabulary list 1000 題 (レベル 1) 対訳集 (単語の 1000 題)
- 実検の英語リスニング (Vol. 1)
- 日常生活で活用する初級・中級の 2000 題 (実検の英語ディクテーション (Vol. 2))

閲覧方法

- Maruzen eBook Library のサイトにアクセスする。
- 「購読契約タイトル一覧」のリンクをクリックする。  
URL: <http://www.maruzen.co.jp/ebook-library/>
- 一覧より読みたいタイトルの閲覧ボタンをクリックする。  
※ 同時アクセスのため、他に読んでいる人がいる場合は閲覧できない場合があります。
- 閲覧を終了するときは閲覧終了ボタンを押してください。  
※ 一部のページを PDF ファイルとしてダウンロードすることもできます。



どんどん  
利用しよう! ♪



## ノート PC の貸出を開始しました!



タブレットとしても使用できるノート PC 2 台の貸出を行っています。電子書籍の閲覧などに便利です。希望される方はカウンターにお申し込みください。

館内ならどこでも利用可能です。

詳細は、ホームページやポスターで!



## 京都府立図書館等の資料を取り寄せよう!

本学にしながら、京都府立図書館および府内市町村立図書館・読書施設等が所蔵する資料を取り寄せて借りることができるサービスを開始します!

**対象者:** 本学構成員 (学生、教職員)

**料金:** 無料

**申込方法**

- [\[京都府図書館総合目録\]](#) から借りたい資料を検索
- 希望資料が見つかったらカウンターの申込書に記入
- 申込書をカウンターに提出したら、到着を待つだけ!

(注意事項)

- 本学にある資料は受付できません。
- 到着に 10 日程度要する場合があります。
- 他機関の資料です。当館の信用にも関わりますので、資料の取り扱いには十分注意してください。

2017年4月  
より  
新サービス  
開始!

### 京都府内の 図書館資料を 取り寄せよう!

本学にしながら、京都府立図書館および府内市町村立図書館・読書施設等が所蔵する資料を取り寄せて借りることができるサービスを開始します!

対象: 本学構成員 (学生、教職員)  
料金: 無料

申込方法

1. 「京都府図書館総合目録」(右QRコード)から借りたい資料を検索
2. 希望資料が見つかったらカウンターの申込書に記入
3. 申込書をカウンターに提出したら、到着を待つだけ!

注意事項

- ✓ 本学にある資料は受付できません。
- ✓ 到着に10日程度要する場合があります。
- ✓ 他機関の資料です。当館の信用にも関わります。取り扱いには十分注意してください。

京都教育大学附属図書館

## 論文検索概論 … 論文の資料集めをしよう！

### 【概要】

卒論、修論のための研究にとりかかり始めた皆さんに論文の探し方についてご案内します。CiNiiという主に国内論文を探すのに有用なデータベースを中心に、Web上でそのまま論文を読む方法や、図書館内の雑誌探し方、他大学の資料の取り寄せ方など、実際に論文を探す流れにそって説明します。

### 【開催日時】

#### A. 30分コース

5月23日(火)～25日(木) 12:00～12:30

#### B. 60分コース

5月22日(月)～23日(火)、26日(金)  
16:15～17:15

【集合場所】附属図書館カウンター

【申込方法】希望日時、所属、氏名を明記の上  
library@kyokyo-u.ac.jp まで  
(当日参加希望は、5分前までにカウンターへ！)

詳細は、ホームページやポスターで！

## えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の「えほんのよみきかせ」は、  
5月15日(月) 15:00～ です。

### 『はじめてのおつかい』

作：筒井 頼子  
絵：林 明子  
出版社：福音館書店

今月の絵本カードは  
こちら！



### ★こんなおはなし★

いつつになった みいちゃんに あるひ、ままは い  
いました。「みいちゃん、ひとりで おつかい でき  
るかしら。」ひとりで でかけたことのない みいち  
ゃんは どきどき。とちゅうでいろんなできごと  
に であいます。はたして みいちゃんは、ちゃんと お  
つかいできるかな…？

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。  
このほかにも毎月かわいいカードが飾られています  
ので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

## 学修相談カウンター 5月もあります！



理数系の院生がいろいろな質問に対応してく  
れます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみま  
せんか？

どんどん利用してください！お気軽に！

【場所】北館2階ラーニングcommons

【時間】16:30～19:30の該当時間

## 企画展示室(北館1階)

※附属図書館の開館日・時間に準じます

### 追悼展 土倉亮一名誉教授 「小さな花と実」によせて

土倉亮一名誉教授(京都教育大学理学学科)は、小さ  
な花や実などを実体顕微鏡で拡大し、植物の精巧な作  
りや優美な色彩を感じ取れる写真を撮影しており、京  
都教育大学附属図書館において3回にわたり写真展  
を開催しました。また、この写真展をきっかけに晩年  
は植物画の制作を始められ、多くの小さな花や実を描  
かれていました。

今回はそれらの植物画を中心に、小さくも美しい植  
物の世界を楽しめる展示となっています。

【会期】3月24日(金)～5月10日(水)

### 美術領域専攻新2回生による作品の展示

新入生及び在校生を対象とした企画展示です。

【会期】5月15日(月)～5月25日(木)



## 教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品「ヲホルリ (♂)・アラバト (♀)」

詳しくはホームペ  
ージの「今月の逸  
品」コーナーをご覧  
ください。展示をし  
ていますので、ぜひ  
ミュージアムへ来  
てくださいね！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **早川 透**(附属特別支援学校 教諭)

### 自閉症児教育において、事例を書くこと・語り合うことの意義

早川 透・高岸 正司・廣内 絵美・藤村 彰・松本 末男・  
高尾 政代・野本 有紀・福永 茜・今村 広海・小久保 博行

京都教育大学紀要. 2016, No.129, pp.63-78.

知的障害児教育においては、自閉症の障害特性に応じた指導・支援の必要性が強調されています。しかし、自閉症の子ども一人ひとりが見せる姿は実に多様で、ステレオタイプの自閉症の特性理解だけでは、一人ひとりに応じた教育は難しいのが実情です。教師は自閉症研究に基づく知見に学ぶ一方で、日々の授業や学校生活の中で、その知見を検証しつつ、自閉症の子ども一人ひとりを理解していくことが大切だと思います。

本研究は、京都・久里浜・鹿児島附属特別支援学校の教師らが共同で行なった事例研究です。各校の指導事例を報告し合い、自閉症の子どもが示す行動の解釈等を巡って議論を重ねました。教師と子どもとのかかわり合いを「教師による子どもの行動解釈—その時々教師は子どもの行動をどのように捉え、どのように応答していったのか」を軸に省察することで、子どもの行動を教師の言葉掛けや応答の仕方との関係で捉え直したり生活文脈の中で捉え直したりして、教師と子どもとの関係形成と行動変容の様子を分析していきました。

本論文では、その中から3事例を提示しています。そこには、教師が子どもの行動を見つめ、気持ちの動きを感じ取り、そこに共感することによって、教師と子どもとの関係が動き、子どもの行動が変容していく様子が描かれています。日々の実践を記述し教師仲間と語り合う省察の積み重ねが自閉症の子ども一人ひとりが生きる指導や支援に結び付いていくことを示す事例だと思います。ぜひご一読ください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 129 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2017年5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2017年6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

6/1 創立記念日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.200(2017年5月号)

発行日:平成29年5月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)

